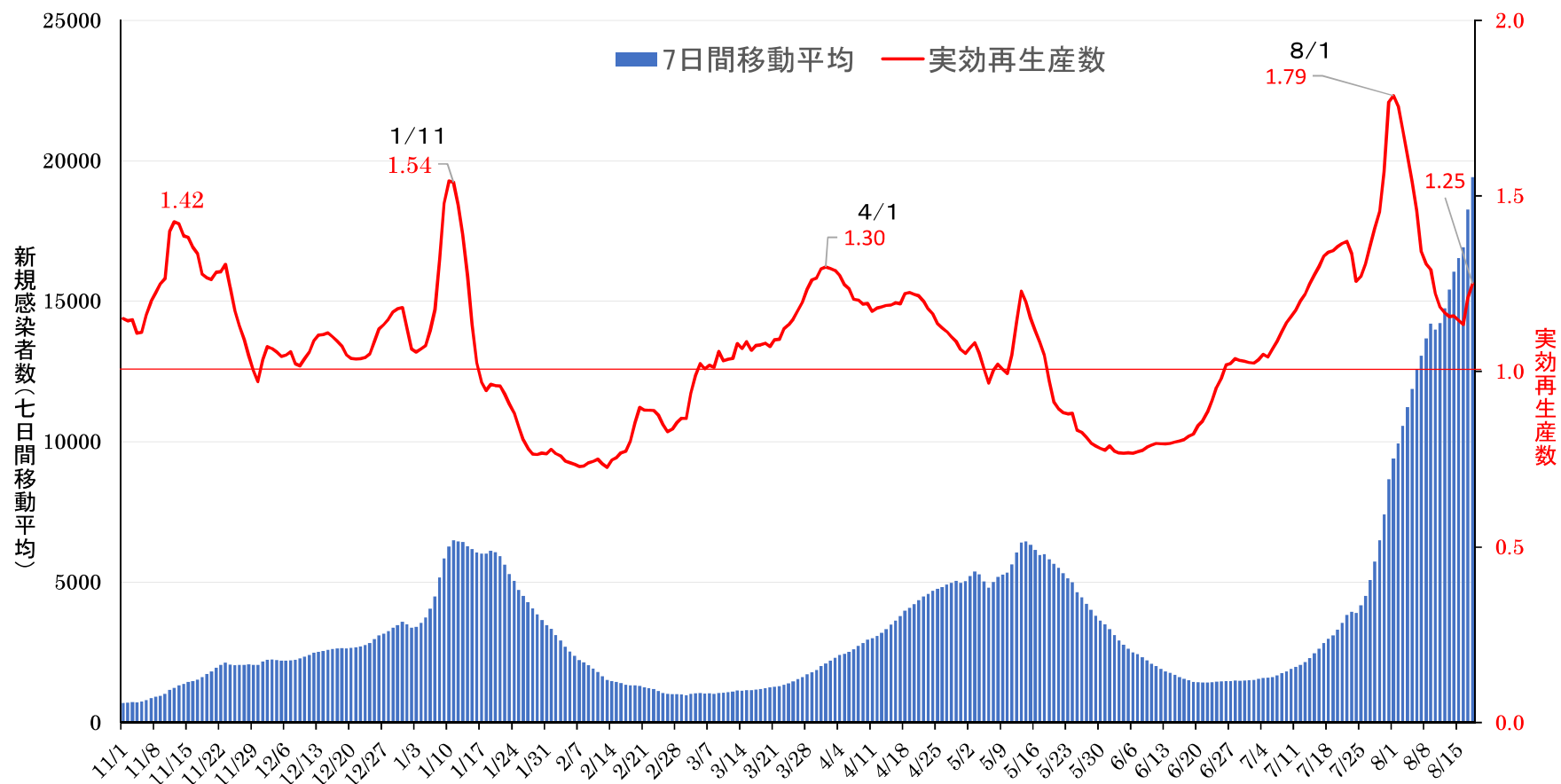


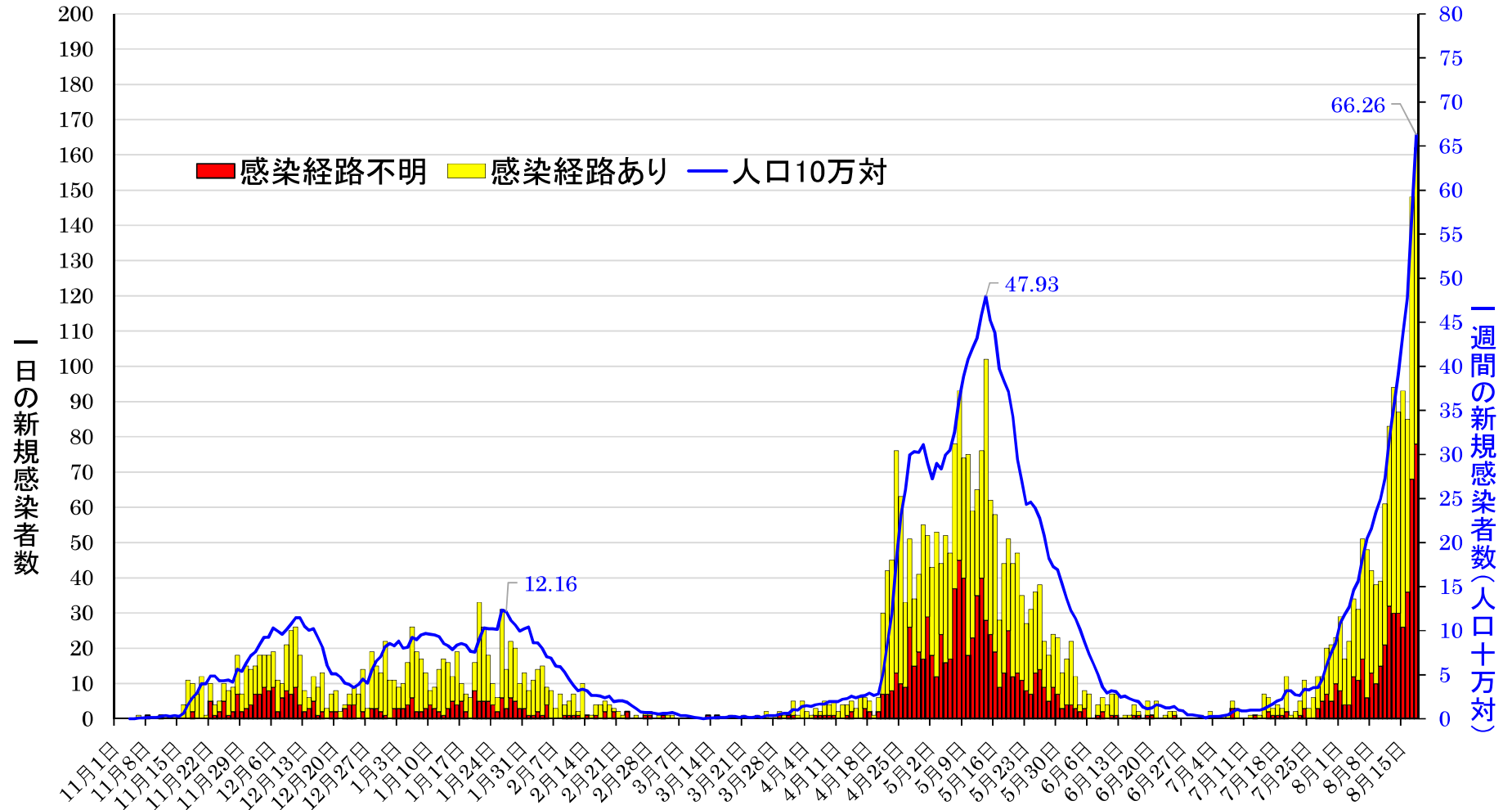
国内の新規感染者数の推移



新規感染者数は、3波、4波と比較し5波は2倍以上の規模となっている

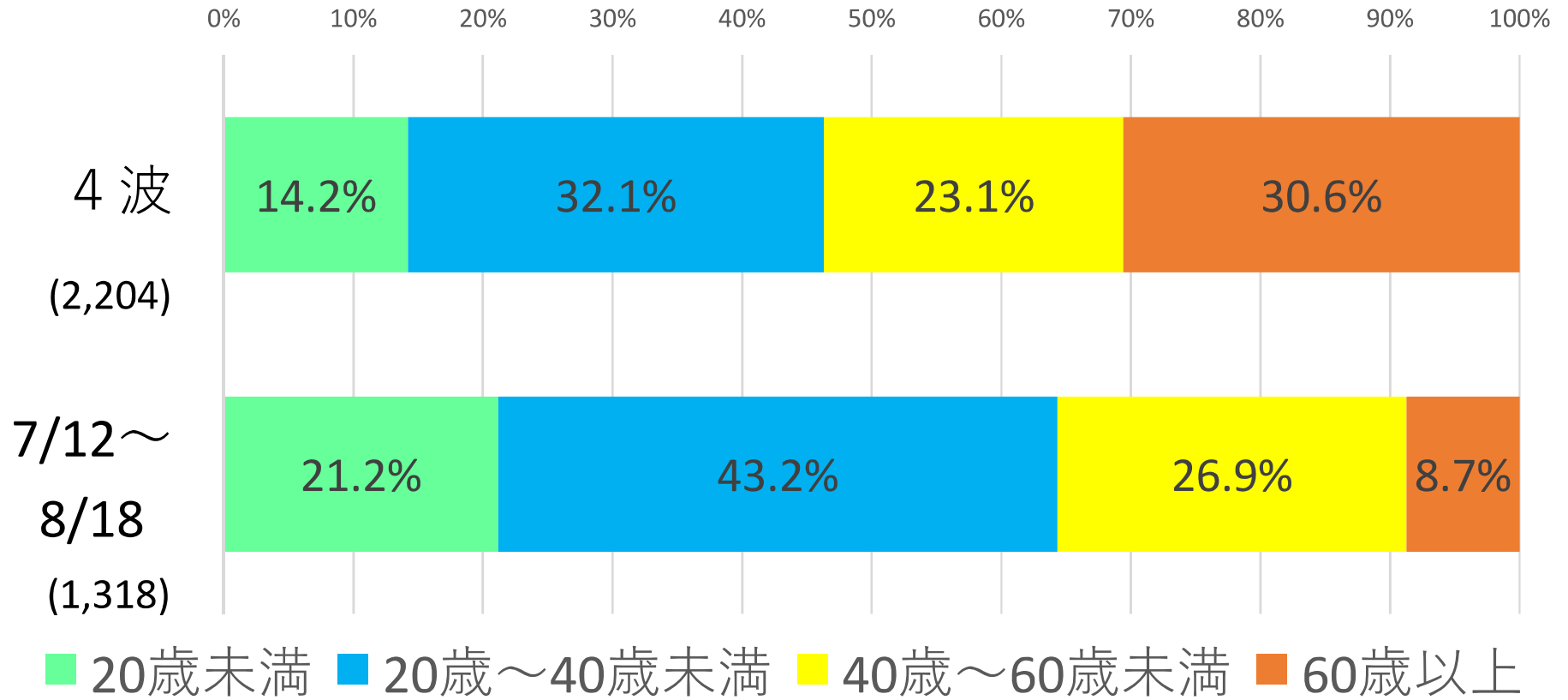
実効再生産数は8月1日をピークに減少傾向にあったが、8月16日を起点に再び上昇傾向となっている

大分県の新規感染者数の推移



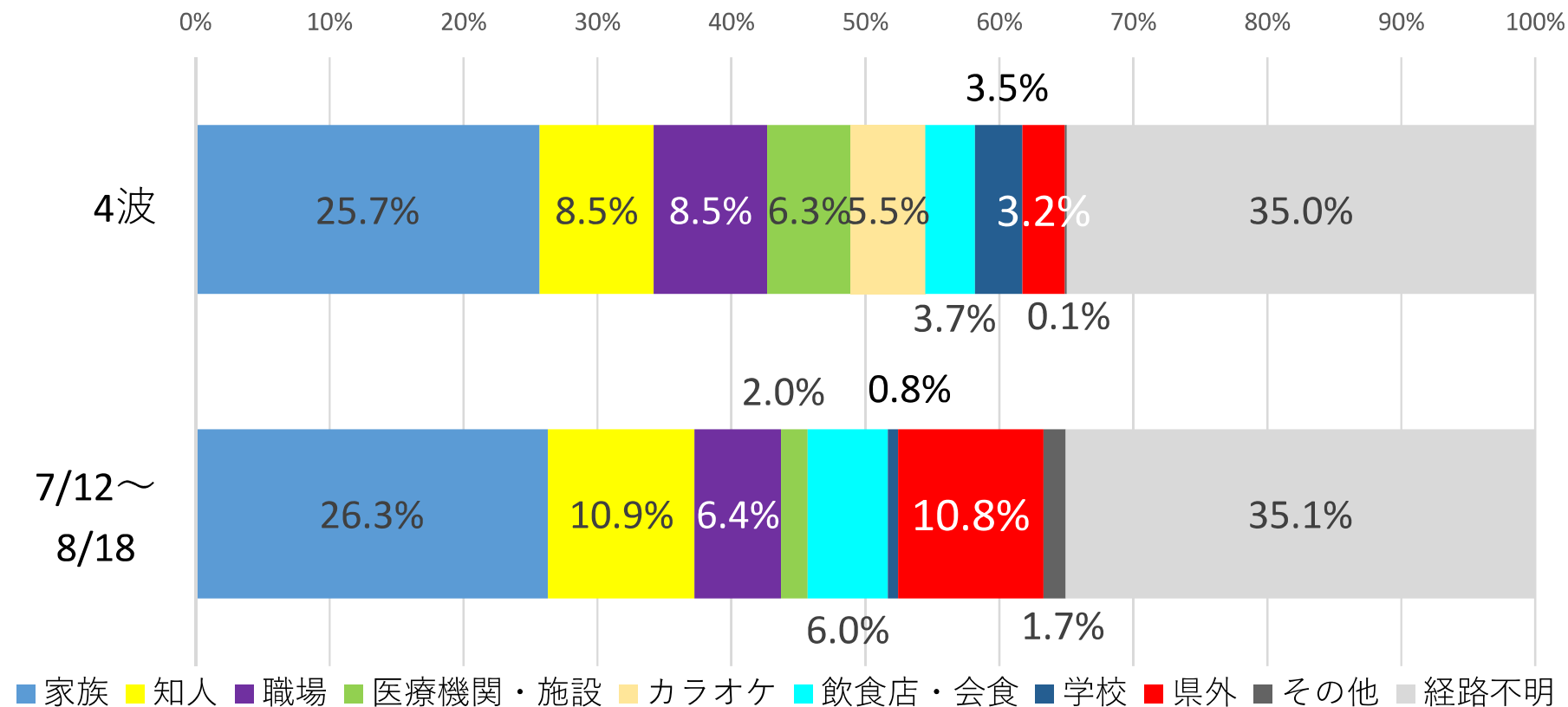
7月12日に県内でデルタ株が初確認後、4波の規模を上回る勢いで感染が拡大

感染者の年齢構成の推移（波別）



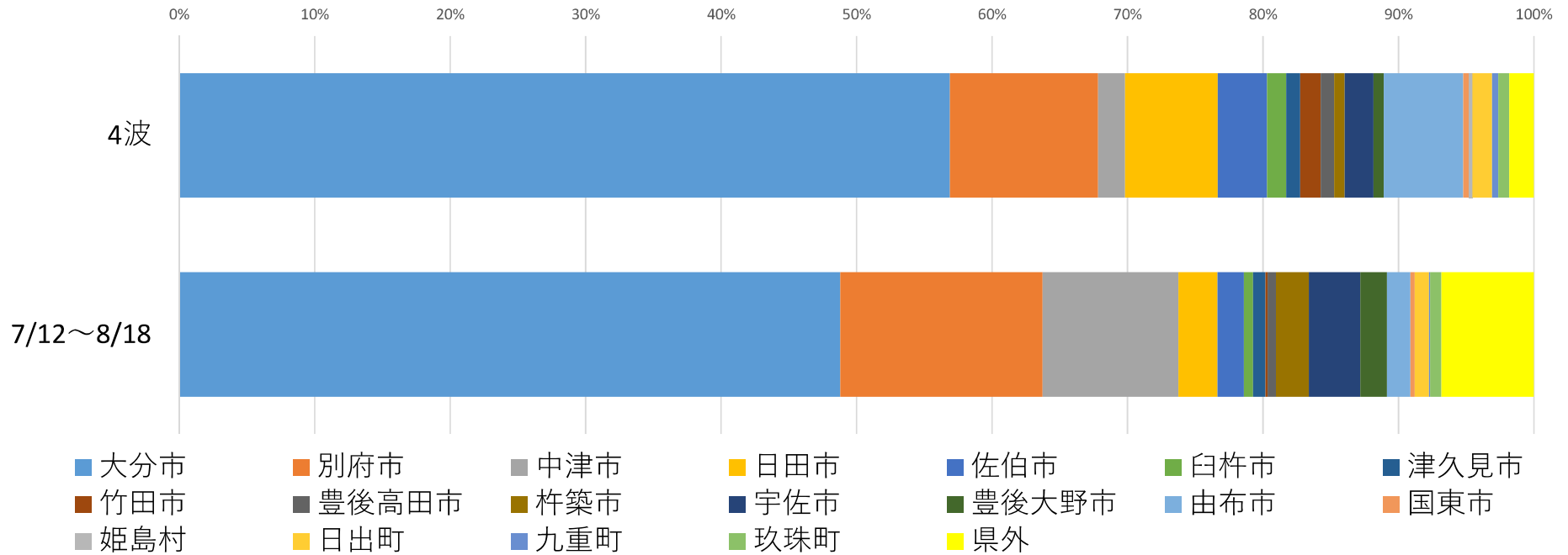
60歳以上の新規感染者は著しく減少 30.6% ⇒ 8.7%
一方で20歳から40歳未満の世代が増加 32.1% ⇒ 43.2%

感染経路の推移



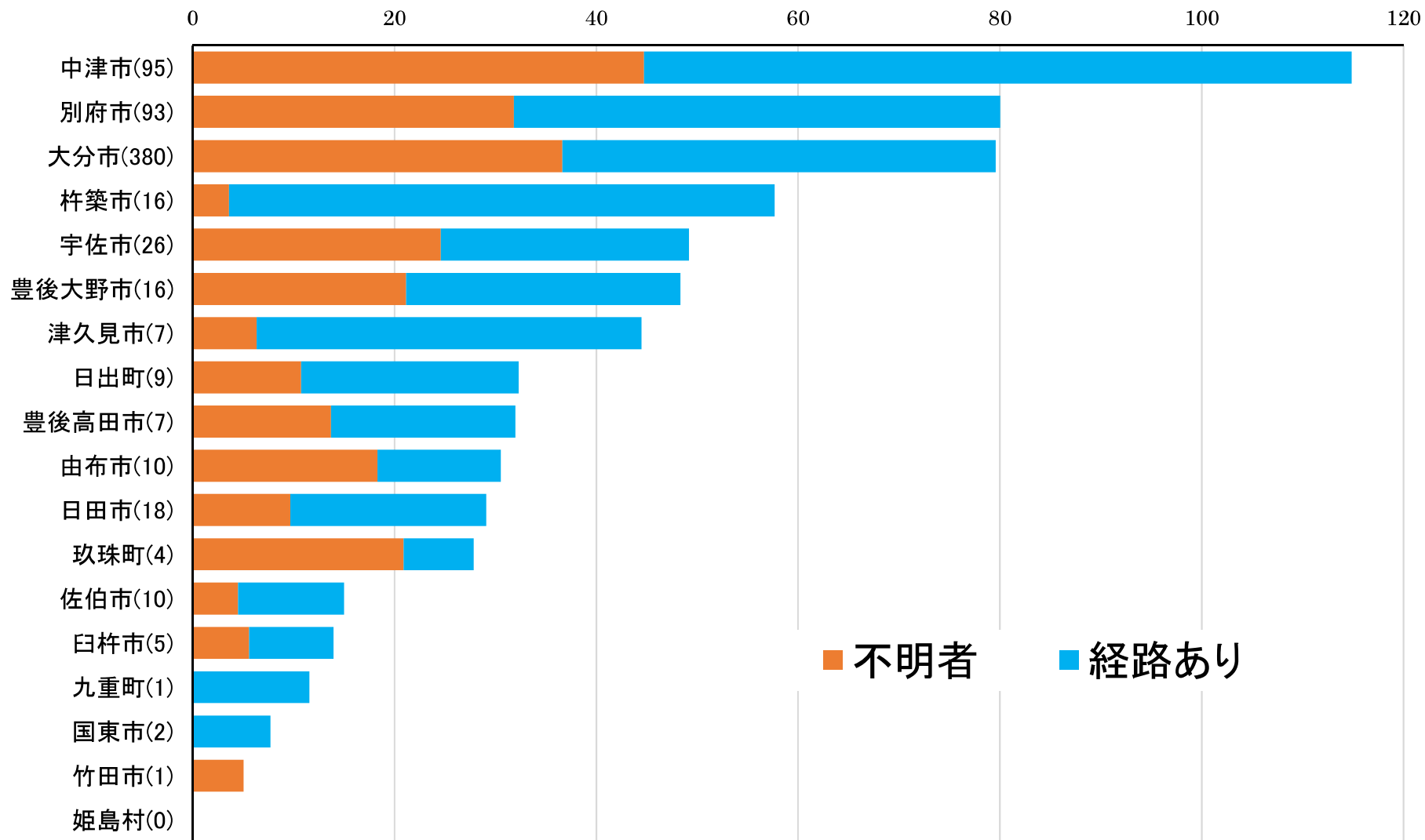
県外由来の感染者が増加 3.2% ⇒ 10.8% 県外感染者を介し家族や知人に感染が拡大
 飲食店・会食での感染は微増 3.7% ⇒ 6.0% 医療機関・施設での感染が減少 6.3% ⇒ 2.0%

新規感染者数の市町村別割合



		大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町	県外	総計
4波	人数	1,254	241	44	151	80	31	23	33	22	17	47	17	129	9	6	32	10	18	40	2,204
	構成割合	56.9%	10.9%	2.0%	6.9%	3.6%	1.4%	1.0%	1.5%	1.0%	0.8%	2.1%	0.8%	5.9%	0.4%	0.3%	1.5%	0.5%	0.8%	1.8%	100.0%
7/12~8/18	人数	643	197	132	38	26	9	12	2	8	32	50	26	23	4	0	14	1	11	90	1,318
	構成割合	48.8%	14.9%	10.0%	2.9%	2.0%	0.7%	0.9%	0.2%	0.6%	2.4%	3.8%	2.0%	1.7%	0.3%	0.0%	1.1%	0.1%	0.8%	6.8%	100.0%

市町村別新規感染者数(人口10万対) 8月12~18日



大分県における感染状況の評価

8月18日発表

※ ステージは、重症者用病床使用率、病床使用率、感染経路不明者割合などの各指標の状況を踏まえ、総合的に判断

ステージ	感染者の状況と医療 提供体制への負担	重症者用 病床使用率 (43床)	病床使用率 (439床)	感染経路 不明者割合 (1週間)	人口10万対 新規感染 者数/週	入院率 (入院患者数 /療養者数)	人口10万対 療養者数 (宿泊療養含む)	直近1週間と 先週1週間の 比較	PCR 陽性率 (1週間)
		2.3% (1 床)	45.6% (200 床)	39.9% (300 / 752)	66.26 (752 人)	29.1% (200 / 687)	60.53 (687 人)	310 → 752 人	8.09% (752 / 9,293)
I	感染者が散発的に発生	10%未満 (~4床)	10%未満 (~43床)	(感染者数が10人以上の 場合適用) 30%未満	5未満 (~56人)	-	10未満 (~113人)	直近1週間と 先週1週間に 大差ない	3%未満
	<ul style="list-style-type: none"> 感染者が未発生、もしくは発生しているが一定の範囲にとどまっている 医療提供体制に特段の支障がない状況 								
II	感染者が漸増し、医療への負荷が蓄積	10~ 20%未満 (5~8床)	10~ 20%未満 (44~87床)	(感染者数が10人以上の 場合適用) 30~ 50%未満	5~15未満 (57~170人)	(人口10万対療養者数 10以上の場合適用) 50~ 40%超過	10~20未満 (114~226人)	直近1週間が 先週1週間より 多い	3~5%未満
	<ul style="list-style-type: none"> 3密環境などリスクの高い場所でクラスターが発生し、感染者が漸増し、重症者も徐々に増加 保健所などの公衆衛生体制の負荷が増大するとともに、医療提供体制への負荷が蓄積しつつある状況 								
III	感染者が急速に増加し、医療提供体制における支障の発生を避ける対応が必要	20~ 50%未満 (9~21床)	20~ 50%未満 (88~219床)	(感染者数が10人以上の 場合適用) 50%以上	15~25未満 (171~283人)	(人口10万対療養者数 10以上の場合適用) 40~ 25%超過	20~30未満 (227~340人)	直近1週間が 先週1週間より 多い	5~ 10%未満
	<ul style="list-style-type: none"> ステージIIと比べてクラスターが広範に多発する等、感染者が急増 医療提供体制への負荷がさらに高まり、一般医療にも大きな支障が生じることを避ける対応が必要な状況 								
IV	爆発的に感染が拡大し、深刻な医療提供体制の機能不全を避ける対応が必要	50%以上 (22床以上)	50%以上 (220床以上)	(感染者数が10人以上の 場合適用) 50%以上	25以上 (284人以上)	(人口10万対療養者数 10以上の場合適用) 25%以下	30以上 (341人以上)	直近1週間が 先週1週間より 多い	10%以上
	<ul style="list-style-type: none"> 病院間クラスター連鎖などの大規模かつ深刻なクラスター連鎖が発生し、爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者及び死亡者が発生 公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥ることを避ける対応が必要な状況 								

大分県の新型コロナウイルス感染症対策 ～ デルタ株への対応

1 医療供給体制の強化

(1) コロナ受入れ病床数	年月	R2.3	R2.5	R2.7	R3.2	R3.5	R3.8
	病床数	40	258	330	367	438	439+ α

(2) 宿泊療養施設 4施設 534室 (①フォルツァ、②リーガル、③コモド、④ボストン)

- ・中津市、日田市にも開設
- ・抗体カクテル療法にも対応できるように一部の宿泊療養施設に医師を常駐

2 感染防止対策の強化 (8月17日～9月12日)

- (1) 不要不急の外出自粛
- (2) 感染拡大地域との県をまたぐ不要不急の往来自粛(移動前後の体調管理と検査)
- (3) 「新しいおおいた旅割」の新規予約停止
- (4) 飲食店に対する21時までの時短要請(協力金、支援金の給付)
- (5) 会食は第三者認証店の利用、マスク会食、短時間、少人数、カラオケの利用自粛
- (6) 職場、学校でのゼロ密対策、不織布マスクで十分な距離の確保と短時間の会話、テレワークの活用
- (7) 大規模集客施設における人数制限やイベントの簡素化など、デルタ株を前提とした密集回避

3 積極的疫学調査による早期封じ込め

- (1) 保健所による感染者の早期特定に向けた幅広い疫学調査実施
- (2) 医療機関と連携した迅速な検査(最大1,078件/日)
- (3) 抗原検査キットを活用した早期探知
 - ・福祉施設、学校、医療機関等に検査キットを配備
 - ・大分市、別府市、宇佐市による抗原検査センターの設置

4 ワクチン接種の推進 (別紙)

新型コロナウイルスワクチンの接種について

～ 希望する全ての県民への11月中の接種完了を目指して～

【県内対象者数及び進捗状況】

第1グループ 医療従事者	5.2万人	2月22日～6月11日(全国2位)						
第2グループ 高齢者等	40.5万人	4月13日～7月31日 ・高齢者接種率(8月17日現在) 1回目 89.8%(全国15位)、2回目 86.9%(全国15位)						
第3グループ以降 基礎疾患を有する者等	56.1万人	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 市町村接種 45万人 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> ・個別接種施設 609施設 ・集団接種会場 24施設 ※接種施設等は、変動します。 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 職域接種 8万人 </td> <td style="padding: 5px;"> ・27企業・団体:28会場 ・4大学:5会場 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 県営接種 3万人 </td> <td style="padding: 5px;"> ・昭和電工武道スポーツセンター 1.3万人 7月4日～8月29日(毎土・日曜) 対象者: 幼稚園・保育所等の職員、障がい児・者 施設職員、交通・運輸関係者、高校教諭 等 ・県庁舎新館14階展望ホール 1.7万人 9月1日～11月30日 月～金曜日 18時半～21時半 土・日曜日 9時～19時 対象者: 県民全般 </td> </tr> </tbody> </table>	市町村接種 45万人	・個別接種施設 609施設 ・集団接種会場 24施設 ※接種施設等は、変動します。	職域接種 8万人	・27企業・団体:28会場 ・4大学:5会場	県営接種 3万人	・昭和電工武道スポーツセンター 1.3万人 7月4日～8月29日(毎土・日曜) 対象者: 幼稚園・保育所等の職員、障がい児・者 施設職員、交通・運輸関係者、高校教諭 等 ・県庁舎新館14階展望ホール 1.7万人 9月1日～11月30日 月～金曜日 18時半～21時半 土・日曜日 9時～19時 対象者: 県民全般
市町村接種 45万人	・個別接種施設 609施設 ・集団接種会場 24施設 ※接種施設等は、変動します。							
職域接種 8万人	・27企業・団体:28会場 ・4大学:5会場							
県営接種 3万人	・昭和電工武道スポーツセンター 1.3万人 7月4日～8月29日(毎土・日曜) 対象者: 幼稚園・保育所等の職員、障がい児・者 施設職員、交通・運輸関係者、高校教諭 等 ・県庁舎新館14階展望ホール 1.7万人 9月1日～11月30日 月～金曜日 18時半～21時半 土・日曜日 9時～19時 対象者: 県民全般							
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎疾患を有する者 9.2万人 ・障がい者施設の従事者 0.7万人 ・小・中学校教職員等 2.6万人 ・高校3年生 1.0万人 ・60～64歳 7.4万人 	上記以外の者(12歳以上) 35.2万人							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> (参考) 県全体接種率(8月17日現在) </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 1回目 50.6%(582,961回) </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 2回目 42.0%(483,372回) </td> </tr> </tbody> </table>			(参考) 県全体接種率(8月17日現在)	1回目 50.6%(582,961回)	2回目 42.0%(483,372回)			
(参考) 県全体接種率(8月17日現在)								
1回目 50.6%(582,961回)								
2回目 42.0%(483,372回)								

新型コロナワクチン供給見込み

○ファイザー社製ワクチンは、医療従事者及び高齢者等の優先接種分及び一般県民分として、9月分(13・14・15クール)までに80.4万人分(161万回分)の配分が決定

○モデルナ社製ワクチンを含めた場合、12歳以上人口の88%の県民に2回接種する量

医療従事者 (ファイザー)	高齢者・基礎疾患等・一般県民 (ファイザー)							職域 (モデルナ)	県営 (モデルナ)	
2月～5月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	6月～9月	7月～8月
95箱	87箱	317箱	292箱	173箱	181箱	252箱			33会場	昭和電気武道 スポーツセンター
10万5千回分 ①(5.2万人)	121万回分 ②(60.5万人)					29.5万回分 ③(14.7万人)			16万回分 ④(8万人)	2.6万回分 ⑤(1.3万人)

※①+②+③+④+⑤=89.7万人分 県内接種対象者(12歳以上)101.8万人の約88%

新たな県営ワクチン接種センターの開設

1 県営接種センターの役割

- ① 住所地を問わず、県民誰もが利用できること
- ② 現役世代を想定し、夜間・休日の接種機会を提供すること
- ③ 市町村及び職域接種を補完し、11月末まで接種機会を提供すること

2 接種会場

県庁舎新館14階展望ホール
(受付は新館1階西側玄関)

3 使用ワクチン

・ファイザー社ワクチン
(希望者には、アストラゼネカ社ワクチンも接種可能)

4 接種期間

9/1(水)～11/30(火) ※約1.7万人に2回接種可能
月～金曜日 18:30～21:30 約250名/日
土・日曜日 9:00～19:00 約800名/日

5 接種予約方法

クール	予約開始日	接種対象者	接種期間	
			1回目	2回目
第1クール	8/21(土) 9:00～	50歳以上※	9/1～9/21	9/22～10/12
第2クール	9/5(日) 9:00～	全年代 (12歳以上)	10/13～11/2	11/3～11/30

※50歳未満でも、海外渡航予定者など緊急に接種が必要な方を含む